

(事例80) 57歳男性、点検作業、脳腫瘍のため配置転換、交代制勤務禁止

類型	症候	疾患
1、2、4	2. 失行・高次機能障害	2・12 脳腫瘍

きっかけ	<input type="checkbox"/> 健康診断の有所見	<input checked="" type="checkbox"/> その他の機会
<p>1. 対象者のプロフィール</p> <p>1) 年齢、既往歴 57歳男性 既往歴：糖尿病</p> <p>2) 業種、作業内容 工場内の点検作業、保守保全 作業内容：点検業務（階段昇降多い）、バルブ開閉（力仕事）、現場作業（修理）、暑熱環境あり（40度以上）</p>		
<p>2. 就業制限・配慮の対象となった疾病、健診値異常 例) 高血圧、HbA1c 高値、腰痛など 脳腫瘍</p>		
<p>3. 就業制限・配慮の内容 例) 高所作業禁止、出張禁止、残業禁止、配置転換、治具導入など 体調が戻るまで、かつ主治医意見・作業確認ができるまで交代勤務禁止、 現場作業禁止→日勤帯、机上業務（約1ヶ月間）</p>		
<p>4. 事例の詳細（背景、経緯、特に考慮した事情など） 上司から相談。話しかけても上の空、書く字がおかしいなどから。病院紹介し、入院加療。退院後高次機能は以前の状態となるが、右半身がやや麻痺が残るとのことで、現場作業を確認、体力測定実施（握力、CS30（下肢筋力）、開眼片足立ち、2step test）、主治医への問い合わせ等の間、上記就業配慮実施。問題ないと判断したため従来業務へ復帰。</p>		
<p>5. 就業制限・配慮の主な目的（複数回答可）</p> <p>1 業務が当該労働者の健康、安全、疾病経過、予後に影響を与える可能性があったため 2 企業リスクが予見されたため（交通事故、公衆災害の発生など） 4 職場や企業への注意を促すため（例：過重労働職場に対し、残業を一定時間以下に制限するなど）</p>		
<p>6. 就業制限を実施するにあたって注意したこと、阻害要因、問題点などあれば教えてください。 +退院後、職場復帰可能の診断書がでていたため会社に出勤したが、上司が現場に出してよいか迷い、そのタイミングで産業医面談の依頼が来た。 -1 職場復帰時に産業医面談をする決まりがなく、職場判断となっていた。（問題点） -2 職場復帰時に産業医面談をする規則ができた（2週間以上の疾病欠勤の場合、または短期間でも脳・心・メンタル疾患の場合産業医面談を命ずる事がある）</p>		